

# 新年メッセージ

## 技術磨き主体的役割担う

建設コンサルタンツ協会会長 野崎 秀則



新型コロナウイルス感染症の収束が期待される中、今こそインフラ事業を通じて地域の魅力を高め、持続可能な社会の形成につなげる必要があります。また、気候変動に伴って災害が激甚化・頻発化

するとともにインフラの老朽化が進む中、防災・減災、国土強靱化は持ったなしの状況です。このような状況に対して、建設コンサルタントは、ますます技術を磨き、主体的に役割を担って参りたいと考えます。

建設コンサルタンツ協会としては、本年、特に重点的に、「技術選定」と「DXの推進」に取り組んでいく所存です。「技

例をお示しし、地方公共団体等に対して要望と提案をさせていただきたいと考えます。

「DXの推進」については、昨年7月に「DX推進特別本部」を設置し、次の四つをテーマに掲げ取り組みをスタートしました。

- ▽受発注者協働による働き方改革
- ▽iCo
- nおよびBIM/CI
- Mの推進
- ▽街づくり・地域づくりのDX推進
- ▽会員企業のDX推進

です。これらの取り組みを通じて、建設産業の生産性向上や働き方改革に貢献できればと考えます。